

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	道路維持補修事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	○	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	管理課

<b>事業目的・概要</b>
<p><b>【事業目的】</b> 市道及び道路附属施設等の維持、補修により、道路利用者の安全と地域住民にとって快適で安心なまちづくりの推進を図る</p> <p><b>【事業概要】</b> 市道の舗装、側溝、安全施設、区画線等の修繕など生活道路の改善を行っていく。 定期的に月2回、3班に分けて道路パトロールを実施するとともに、庁内イントラを利用し、毎月1日に道路異状箇所を報告を促すなど、市職員の生活道路に対する意識を高め、適切な維持管理を行う。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
補修処理率	%	95.2	98.7	96.0	96.0	96.0
パトロール実施回数(月2回)	回	24	25	24	24	24

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
応急的維持補修 ・修繕実施箇所の完了 (令和3年3月末)  道路パトロールの実施(月2回)  計画的維持管理 藤代駅自由通路エレベーター2号機頂点プーリー ベアリング交換など 藤代駅自由通路エスカレーター補修工事 (令和3年3月末)	応急的維持補修 修繕実施箇所(令和3年3月末) 確認件数: 1147件 処理件数: 1133件  道路パトロール 25回 取手市内を5地区に分け、3班に分かれて実施。  計画的維持補修 藤代駅エレベーター2号機マルチドアセンサー交換修繕 (令和3年3月12日完成) 藤代駅エレベーター2号機ベアリング等修繕 藤代駅自由通路エスカレーター補修工事 (令和3年3月26日完成)	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も補修要望については迅速に対応していく。</li> <li>・日常のパトロールに加え、月2回の定期道路パトロール道路を実施して監視体制の強化を図る。</li> <li>・市職員への周知徹底を図り、道路等の補修箇所の早期発見に務める。</li> </ul>

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	0	0	45,050	今年度は緊急対応による補修箇所など多かったことにより、48,512千円の増額となった。
	県支出金				
	地方債	0	31,200	51,800	
	その他	21,370	25,399	34,617	
	一般財源	201,554	214,837	197,005	
事業費計(A)	222,924	271,436	328,472	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	6	6	7	
	業務時間	11,520	11,520	13,440	
	その他職員人件費	7,661	8,680	9,142	
人件費計(B)	44,122	45,406	51,760		
トータルコスト(A+B)	267,046	316,842	380,232		

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	道路等管理業務						
<b>総合計画 重点施策</b>	-	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	管理課

<b>事業目的・概要</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道の道路施設（橋梁、防犯灯、街路樹など）の維持管理を行う。</li> <li>・市道の新設、改良等に伴い、市道路線の認定廃止手続を行い、道路台帳の補正を実施する。</li> <li>・境界査定未確定の区域（市道、法定外）について境界立会いを実施する。</li> <li>・道路占用、法定外占用の許可事務を行う。</li> <li>・茨城県道路整備促進協議会等の各協議会へ参画し、国・県へ道路施設整備促進の要望を行う。</li> </ul>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
橋梁定期点検	橋	21	36	45	62	29
橋梁及び歩道橋修繕(設計)	橋		7	1	2	2

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・横断歩道橋補修工事実施設計の実施(2基)</li> <li>・橋梁補修工事実施設計の実施(6橋)</li> <li>・橋梁定期点検の実施(81橋)</li> <li>・防犯灯の維持管理及び新設</li> <li>・街路樹剪定などの維持管理(令和3年3月末まで)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横断歩道橋補修工事実施設計業務委託(令和3年6月30日完了予定)</li> <li>・橋梁補修工事実施設計業務委託(中内第8号橋)ほか(令和3年3月15日完了)</li> <li>・橋梁定期点検業務委託(令和3年3月15日完了)</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">横断歩道橋の補修工事実施設計について、国庫補助金の内示割れにより、県との調整により1月に発注となった。 また、取手市で管理している橋梁について、各占用者との管理区分の見直しが確定し、管理橋梁数が減少となったことから、補修工事実施設計及び橋梁点検対象数の変更が生じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯灯の新規設置数(47基)</li> <li>・街路樹剪定などの維持管理 2単市第2-1号 主要道路等街路樹管理業務委託 ほか13本(令和3年2月28日完了)</li> </ul>	<p style="margin-left: 40px;">A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	引き続き、適切で計画的な維持管理を行う。

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	18,379	32,374	17,182	橋梁長寿命化計画により、今年度より詳細設計を実施したため、前年度に比べ27,745千円増額となる。
	県支出金				
	地方債	30,700	40,787	24,800	
	その他	6,326	5,377	3,984	
	一般財源	33,102	37,714	33,183	
事業費計(A)	88,507	116,252	79,149	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	5	8	8	・取手市公共施設の里親制度実施要領を活用し、取手市道に設けられた植樹帯の維持管理を実施している。引き続き、里親制度により環境美化等に対する市民意識の高揚を図り、美しき住みよいまちづくりを推進する。
	業務時間	9,600	14,208	14,592	
	その他職員人件費	8,194	12,224	13,534	
人件費計(B)	38,578	57,519	59,805		
トータルコスト(A+B)	127,085	173,771	138,954		

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	地籍調査事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	-	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	管理課

<b>事業目的・概要</b>
<p>国土調査法に基づき、地籍の明確化を図るために一筆毎の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果に基づき地図及び簿冊を作成する事業である。これらの成果は、法務局に送付され登記内容が改められることをはじめ、市町村における様々な行政事務の基礎資料として活用される。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
地籍調査新規地区の面積	ha	18	15	8	18	18
地籍調査新規地区の総筆数	筆	876	633	588	900	900
地籍調査事業の進捗率 ※1	%	15.4	15.7	15.8	16.1	16.4

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・白山Ⅰ地区(R2着手)新規地区 5月 地籍調査推進委員委嘱 6月 地元説明会 7月～8月 長狭物調査 9月～11月 一筆地調査 12月～3月 地籍測量</li> <li>・新町Ⅰ地区(R1着手)2年目地区 1月 地籍成果の閲覧</li> <li>・東Ⅲ地区(H30着手)3年目地区 7月 地籍成果の認証請求 10月 地籍成果の法務局送付</li> </ul>	<p>新規地区である白山Ⅰ地区(白山二丁目、白山三丁目、白山六丁目及び新町三丁目の各一部)は、市の中心市街地に隣接する地域で、筆数・地権者数ともに多い地区であったが、地籍調査推進委員の方々や関係地権者の地籍調査事業に対する理解、協力により調査及び測量を予定通り実施した。また、2年目地区の新町Ⅰ地区及び3年目地区の東Ⅲ地区についても予定通り実施した。</p> <p>○本市の調査実施面積 942ha (令和2年度末現在)※2 〃 調査対象面積 6002ha</p> <p>※1 地籍調査事業の進捗率＝調査実施面積/調査対象面積 ※2 本市の調査実施面積には国土調査法第19条第5項の指定(地籍調査以外の事業[土地区画整理事業等]により地籍調査の成果と同等以上の精度・正確さを有する場合、この成果を地籍調査の成果と同一の効果があるものとして指定すること。)及び法務局が実施した登記所備付地図作成作業の面積を含む。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	地籍調査事業は息の長い事業であるが、事業の重要性や必要性は高く、着実に事業を進めて行かなければならない。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				令和2年度は令和元年度より新規地区の面積が小さいため減額となっている。調査区域は、地番区域(大字)、面積及び筆数等を総合的に判断して決めており、年度によって面積や筆数が変動する。
	県支出金	12,900	11,400	13,350	
	地方債				
	その他				
	一般財源	6,407	5,185	8,487	
事業費計(A)		19,307	16,585	21,837	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	4	4	4	調査地区内の市政協力員及び当該市政協力員の推薦を受けた調査地区内に居住し、土地に関して識見を有する方を地籍調査推進委員として市長が委嘱し、現地調査業務への協力を得て、地籍調査の円滑な推進を図る。
	業務時間	6,720	7,296	7,680	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		21,269	23,260	24,353	
トータルコスト(A+B)		40,576	39,845	46,190	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	市営住宅管理運営事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	-	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	管理課

<b>事業目的・概要</b>
<p>○住宅に困窮する低所得者に対する低廉な家賃の賃貸住宅供給を目的として、市営住宅281戸の管理・運営を行う。</p> <p>・事業内容 市営住宅事業の運営に関し、必要な事務全般に関わるものである。具体的には、入居者の募集は例年2回実施し、募集期間を定めて申込みを受け付け、申込者多数の場合は、抽選にて入居者を決定している。家賃の額は、各入居世帯の収入に応じて決定し、収入の査定については、毎年夏に収入申告書の提出を義務付けし、次年度の家賃の額を決定している。また、収入が一定額以下の世帯及び病気や災害等特別な事情のある世帯については、家賃の減免手続き及び徴収猶予に応じている家賃の納付については、口座振替及び納付書による窓口納付により実施している。家賃の滞納者に対しては、督促状及び催告状の送付や電話・訪問による納付指導並びに分割納付誓約を取交わす等、滞納の早期予防に努めている。悪質滞納者に対しては、住宅の明渡請求を実施している。</p> <p>・施設の維持管理については、施設の劣化状況や修繕履歴を勘案し、優先順位の高いものについて修繕工事を実施している。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
家賃収納率(現年度分)	%	97.8	98.3	97.0	97.0	97.0
募集戸数	戸	5	5	3	3	3

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>○家賃収納率 毎月、未納者に対して督促状・未納通知書・催告書を発送。 その都度、電話及び戸別訪問により納付指導を行い、それでも支払いに応じない場合は、連帯保証人への協力要請及び履行請求を行う。</p> <p>○募集戸数 社会資本整備総合交付金の補助を受け、市営住宅の耐久性向上を図る整備等を実施し、入居募集用の部屋の修繕を順次行いながら、入居者募集を10月及び翌年2月に実施する。</p>	<p>○家賃収納率 毎月の督促及び電話・戸別訪問により、未納者に対して、きめ細やかな納付指導を行った結果、目標とした97%を上回る結果となった。</p> <p>○募集戸数 10月には、3戸(单身者向け住宅2戸及び家族向け住宅1戸)の募集を行った。2月には、2戸(家族向け住宅)の募集を行った。結果的に、令和2年度の募集戸数全てを充足した。令和3年度は、耐用年数を越えた住宅への募集を停止し、耐用年数を越えていない住宅の募集のみとする。また木造住宅からの移転用の住宅の整備を行う。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	<p>取手市公営住宅長寿命化計画に基づき、市営住宅の予防保全的な維持管理を実施するため、社会資本整備総合交付金の補助を受けながら、市営住宅の耐久性向上を図る。また、入居募集用に部屋を修繕して、提供していくとともに、老朽化した木造住宅を廃止し、住宅の集約によるコスト軽減を図る。家賃収納においては、滞納者に対しきめ細やかな納付指導等を実施し、連帯保証人とも連絡を密にし、回収を進める。また、未収債権については、調査を継続的に行い、債権管理条例制定により、徴収不能となった債権についてはそのつど不納欠損処理を行う。</p>

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	9,850	17,342	29,250	野々井住宅・第二野々井住宅外壁・屋根改修工事の実施及び西方住宅・第二南住宅外壁・屋根改修工事実施設計を行ったことによる6,541千円の増額となった。
	県支出金				
	地方債	22,400	23,400	35,700	
	その他	19,742	18,105	20,859	
一般財源	404	97	50		
事業費計(A)	52,396	58,944	85,859	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	3,840	3,840	3,840	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	12,154	12,242	12,177		
トータルコスト(A+B)	64,550	71,186	98,036		

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	都市計画道路3・4・7号整備事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	道路建設課

<b>事業目的・概要</b>
<p>当該都市計画道路は、取手駅までの主要なアクセス道路で多くの利用者があるにもかかわらず歩道等の整備が十分でないことから非常に危険な状況である。歩行者にやさしい、安全・快適な道路環境の構築と非常時の避難路としての機能に配慮して整備を推進する。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	100	—

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
整備延長 L=155.5m  4月～5月 擁壁工事  4月～11月 道路築造工事  10月～2月 基金買戻し  4月～2月 移転補償	整備延長 L=155.5m  擁壁工事 4月～6月  道路築造工事 4月～3月  基金買戻し 3月  移転補償 11月～3月	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	関係地権者との交渉を推進し、道路改良事業の完了を目指す。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	73,038	190,114	11,000	令和2年度は擁壁工事(第2工区)に合わせ道路築造工事年度であったため増額となっている。
	県支出金	—	—	—	
	地方債	76,200	156,000	8,500	
	その他	—	—	—	
	一般財源	4,045	7,633	1,952	
事業費計(A)		153,283	353,747	21,452	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	500	500	500	
	その他職員人件費	—	—	—	
人件費計(B)		1,583	1,594	1,586	
トータルコスト(A+B)		154,866	355,341	23,038	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	駒場四丁目道路改良事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	道路建設課

<b>事業目的・概要</b>
<p>当路線は、国道294号線から県道常総取手線へつなぐ道路となっており、朝夕のラッシュ時には抜け道として利用され、自動車、バイク、自転車が多数通過している。通学児童生徒と車両が輻輳し、非常に危険な状況となっていることから安全対策施設整備を実施する。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
年度事業進捗度	%	—	100	—	—	—

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
整備延長 L=200.0m 8月～3月 安全対策施設整備工事	R2.10月～R3.2月 安全対策施設整備工事実施 (事業完了)	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
事業完了	

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金		5,154		R2年度からの新規事業であったため増額となっている。
	県支出金				
	地方債		4,200		
	その他				
	一般財源		18		
事業費計(A)		0	9,372	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数		2		
	業務時間		500		
	その他職員人件費				
人件費計(B)		0	1,594	0	
トータルコスト(A+B)		0	10,966	0	



## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	上高井三宝グランド前道路改良事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	道路建設課

<b>事業目的・概要</b>
<p>当路線は、県道谷井田稲戸井停車場線から都市計画道路3・4・5号新道・みずき野線へつなぐ道路であるが、車両一台分の道路幅員のため、使用に非常に不便をきたしている。安全で快適な道路交通を発現出来るよう道路整備を進めるものである。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	—	—	—

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
整備延長 L=266.0m  5月～12月 道路改良工事	6月～12月 道路改良工事实施  (事業完了)	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
事業完了	

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				令和2年度は工事年度であったため増額となっている。
	県支出金				
	地方債	4,800	42,100		
	その他				
	一般財源	618	52		
事業費計(A)		5,418	42,152	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	2	2		
	業務時間	500	500		
	その他職員人件費				
人件費計(B)		1,583	1,594	0	
トータルコスト(A+B)		7,001	43,746	0	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	片町道路改良事業(藤代駅北口地区歩行空間整備事業)						
<b>総合計画 重点施策</b>	魅力ある市街地の形成	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	道路建設課

<b>事業目的・概要</b>
<p>藤代駅北口周辺地区における市道5379号線は、藤代駅北口と藤代庁舎方向を結ぶ主要なアクセス道路であるため、車道と歩道の通行帯を明確にし、安全で快適な空間を発現出来るよう道路整備を進めるものである。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	—	—

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
整備延長 L=153.5m  7月～3月 道路改良工事	R2.9月～R3.7月 道路改良工事実施  L=153.5m	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	藤代駅北口と藤代庁舎方向を結ぶ主要な道路を安全で快適な空間が発現出来るよう道路整備を推進する。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				令和2年度は工事年度であったため増額となっていたが、繰り越し工事となったため、減額となっている。
	県支出金				
	地方債	11,300	9,000	54,727	
	その他				
	一般財源	670	60	3,357	
事業費計(A)		11,970	9,060	58,084	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	500	500	500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		1,583	1,594	1,586	
トータルコスト(A+B)		13,553	10,654	59,670	



## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	道路改良・整備事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	都市機能の充実	<b>組織目標</b>	-	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	道路建設課

<b>事業目的・概要</b>
<p>市内の一般市道や都市計画道路について、利便性・安全性の向上を目的とし道路交通網の充実を図る。 また、通学路については、通学路安全対策プログラムに基づいた危険箇所の安全対策を実施する。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
各事業の指標による						

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
道路改良・整備事業の各事業による	道路改良・整備事業の個別マネジメントシート参照	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	市内の道路交通網の充実と交通利便性の向上を推進する。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	-----	-----	-----	
	一般財源	-----	-----	-----	
事業費計(A)		0	0	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	-----	-----	-----	
	業務時間	-----	-----	-----	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)		0	0	0	
トータルコスト(A+B)		0	0	0	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	藤代横町雨水排水事業の推進						
<b>総合計画 重点施策</b>	-	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	排水対策課

<b>事業目的・概要</b>
<p>藤代小学校付近(新町)で頻繁に発生する道路冠水被害対策として、柵木雨水幹線(枝線)を整備し接続する予定の箇所であるが、暫定改修により既設水路に接続するものである。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
排水整備率(整備事業費/総事業費) (新町工区)	%	3	35	99	100	

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28 詳細設計</li> <li>・R元(R2) 雨水排水工事 (BOX、L≒80m ・人孔1基)</li> <li>・R 2 雨水排水工事 (φ800、L≒23m)</li> <li>・R 3 家屋事前・雨水排水工事(BOX、 L≒97m・U字溝、L≒58.2m ・φ250、L≒12m・人孔1基)、 移設補償</li> <li>・R 4 家屋事後調査、家屋補償</li> </ul>	<p>R2年度については関係機関でもある国土交通省、竜ヶ崎工事事務所、県南水道企業団、東京ガスとも協議を重ね、R2.8.25に請負業者と工事契約締結し雨水排水整備を実施したが、地下埋設物の占用位置確認後の設計の見直し及び施工業者との協議等に不測の日数を要したため令和3年度へ繰越し、R3.5に完了予定である。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	平成28年度から詳細設計を行い、横町工区は平成29年度から管渠やポンプ施設及びU型水路を整備し平成30年度に完了した。また、令和元年度からは新町工区の整備を行い令和4年度に家屋事後調査を予定し事業の完了予定である。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				令和2年度工事繰越にともない、事業費が増額となっている。
	県支出金				
	地方債		56,100	107,400	
	その他				
	一般財源		110	6,402	
事業費計(A)		0	56,210	113,802	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	1,200	1,200	1,200	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		3,892	3,798	3,826	
トータルコスト(A+B)		3,892	60,008	117,628	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	稲雨水幹線事業の推進						
<b>総合計画 重点施策</b>	-	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	排水対策課

<b>事業目的・概要</b>
<p>中央タウンは大規模開発により整備済み箇所でもあるが、近年の宅地化に伴い雨水流出量が増大し、特に西2丁目地内市道(1-2548号線)の道路冠水被害が多発し通行に支障を及ぼすほど滞水する状況であるために雨水排水を整備するものである。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
排水整備率(整備事業費/総事業費)	%	4	8	36	85	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・R元 基本設計</li> <li>・R2 実施設計</li> <li>・R3 雨水排水工事(U字溝、L≒275m) 移設補償費</li> <li>・R4 雨水排水工事(U字溝、L≒579m) 移設補償</li> <li>・R5 舗装工事(A≒3,200m<sup>2</sup>) 移設補償</li> </ul>	<p>R2年度については、R2.6.5に設計コンサルタントと委託契約を締結し、関係機関である県南水道企業団、取手地方広域下水道組合、東日本ガス、NTTとも協議を重ね、R3.3に詳細設計の報告書をとりまとめた。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	<p>令和元年度に基本設計で現地調査を行い、令和2年度に詳細設計、令和3年度から雨水排水整備を開始し、令和5年度に事業の完了予定である。</p>

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				指名競争入札による入札差金にともない、事業費が減額となっている。
	県支出金				
	地方債		6,400	39,200	
	その他				
	一般財源	6,875	90	2,115	
事業費計(A)		6,875	6,490	41,315	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	1,200	1,200	1,200	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		3,798	3,826	3,805	
トータルコスト(A+B)		10,673	10,316	45,120	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	樋管維持管理事業の推進						
<b>総合計画 重点施策</b>	-	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	排水対策課

<b>事業目的・概要</b>
<p>雨水を市内の河川（利根川・小貝川）に排除し、浸水等の災害から市民を守るために、河川等の接合点である市所有の「排水樋管」・「樋管ゲート」・「樋管ポンプ」・「排水機場」計8施設及び、国土交通省所管の「樋管ゲート」計9施設や河川増水時に逆流を防止するため、樋管ゲートを閉め切った際に、内水排除を目的とした排水機場（計4箇所）および樋管ポンプ（計2箇所）や付帯施設を点検し、維持管理する。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
排水樋管点検件数	件	17	17	16	16	16

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月、年間保守点検業務委託や樋管操作の契約を締結。</li> <li>・毎月点検実施。</li> <li>・河川増水に伴い随時樋管・機場等操作</li> </ul>	<p>河川増水時に樋管(利根川13カ所・小貝川4カ所)や排水機場・ポンプ施設(利根川6カ所)を操作するため操作員に依頼し、毎月施設を4～5月・11～3月の渇水時期には月1回、6～10月の出水時期には月2回点検を実施。また専門業者には機械類の保守点検業務を委託し不具合箇所については随時修繕を行った。</p>	<p style="margin: 0;">A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	市民の人命・財産を守るため、適正な維持管理を行っていく。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				R元年度に老朽化した排水機場のポンプ改修完了にともない、R2年度事業費が減額となっている。
	県支出金				
	地方債	16,800	6,500		
	その他	8,893	6,580	5,705	
	一般財源	15,440	16,907	15,562	
事業費計(A)		41,133	29,987	21,267	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	3	3	3	
	業務時間	2,910	2,910	2,910	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		9,210	9,277	9,228	
トータルコスト(A+B)		50,343	39,264	30,495	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	排水路維持管理事業の推進						
<b>総合計画 重点施策</b>	-	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	排水対策課

<b>事業目的・概要</b>
<p>豪雨による道路冠水や浸水被害からの市民を守るため、雨水排除の対策が必要となり、ポンプ施設や雨水幹線の整備が進められ、雨水調整池は民間開発行為等により築造され完成後は市に帰属され雨水流出抑制を行っている。雨水幹線や既設水路の除草・汚泥浚渫・雑木伐採、雨水調整池の汚泥浚渫、排水ポンプ施設の機械類の点検整備及び修繕を行う。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
ポンプ施設保守点検回数	回	12	12	12	12	12

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月、年間保守点検業務委託の契約を締結。</li> <li>・年間点検実施。</li> <li>・不具合箇所については、随時点検業者と状況確認を行う。</li> </ul>	<p>雨水幹線(39路線)やポンプ施設(66台)・調整池20箇所が機能するように点検・清掃などを随時実施。また、専門業者にポンプ施設の保守点検を委託し不具合について随時修繕を行った。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	道路冠水や浸水被害から市民を守るため、適正な維持管理を行っていく。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				R2年度に双葉第2ポンプ場常用ポンプ改修工事の実施にともない、事業費が増額となっている。
	県支出金				
	地方債		10,000	7,300	
	その他	2,411	4,464	3,375	
	一般財源	46,231	47,691	51,829	
事業費計(A)		48,642	62,155	62,504	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	3	3	3	
	業務時間	2,910	2,910	2,910	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		9,210	9,277	9,228	
トータルコスト(A+B)		57,852	71,432	71,732	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	雨水排水対策事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	都市機能の充実	<b>組織目標</b>	-	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	排水対策課

<b>事業目的・概要</b>
<p>誰もが安心して生活し、快適に住み続けることのできる住居環境整備のため、住宅浸水被害や道路冠水を緩和することを目的とする。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
各事業の指標による						

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
雨水排水対策事業の各事業による	雨水排水対策事業の個別マネジメントシート参照 ・藤代横町雨水排水事業の推進 ・稲雨水幹線事業の推進 ・樋管維持管理事業の推進 ・排水路維持管理事業の推進	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	災害に備え住宅浸水被害や道路冠水を緩和するため、対応していく。

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	-----	-----	-----	
	一般財源	-----	-----	-----	
事業費計(A)	0	0	0	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	-----	-----	-----	
	業務時間	-----	-----	-----	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)	0	0	0		
トータルコスト(A+B)	0	0	0		



## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	市民と協働による公園維持管理事業(都市公園施設長寿命化対策事業)						
<b>総合計画 重点施策</b>	市民活動支援と協働の推進	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	水とみどりの課

<b>事業目的・概要</b>
<p>市が管理する老朽化が進む公園施設に対して安全対策の強化、ライフサイクルコスト縮減並びに補修・更新費用の平準化を図る観点から、適切な施設点検、維持補修等の予防保全型管理のもとで、既存ストックの長寿命化対策および計画的な補修・更新等を行うことを目的として平成28年度に「公園施設長寿命化計画」を策定した。この計画に基づき、都市公園（155公園）の施設を補修及び更新していく。</p> <p>老朽化した施設・遊具等、公園の再整備を行っていくにあたり、地元自治会などと協議を行い、地元ニーズを反映した公園の計画・再整備を行う。また、維持管理協定等について合意形成を図り、利用者が望む公園を提供する。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
都市公園長寿命化対策事業を実施する公園数及び施設数	公園	5	10	24	27	27
	施設	11	19	37	68	43

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
とがしら公園アスレチック遊具更新工事  R2.4月 現地調査・設計 R2.5月 協議(地元自治会等) R2.6月 起工 R2.7月 工事契約 R2.7月～10月 長寿命化対策工事	①とがしら公園アスレチック遊具更新工事(複合遊具の更新) 令和2年10月30日 完了 ②かつら公園複合遊具更新工事(複合遊具の更新) 令和2年11月30日 完了 ③相野谷親水公園複合遊具更新工事(複合遊具の更新) 令和2年11月30日 完了 ④小堀公園／⑤城根東公園遊具更新工事(遊具の更新) 令和2年12月7日 完了 ⑥つつじヶ丘第1公園遊具更新工事(複合遊具の更新) 令和3年2月15日 完了 ⑦関鉄かえで公園／⑧関鉄北公園／⑨関鉄東公園／⑩寺田原谷公園遊具更新工事(遊具の更新) 令和3年3月9日 完了	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	<p>公園施設長寿命化計画に基づき、最新の点検結果を反映して、公園施設の補修及び更新を計画的かつ効果的に実施する。</p> <p>市民とともに考え一緒に作り上げていく方法として、地元自治会等と協議を行い、利用者が望む公園を提供できるため、今後も継続していく。</p>

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	12,052	27,597	16,966	令和2年度は複合遊具(大型遊具)の更新が多かったことから増額となっている。
	県支出金				
	地方債	10,800	27,500	15,900	
	その他				
	一般財源	1,827	904	3,065	
事業費計(A)	24,679	56,001	35,931	<b>協働の取組・方向性</b>	
人件費	正規職員数	3	3	3	老朽化した施設・遊具等、公園の再整備を行っていくにあたり、地元自治会などとの協議の場を設け、地元ニーズを反映した公園の計画・整備を行うとともに、整備後の維持管理や利用方法等について可能な限り合意形成を図っていく。
	業務時間	3,000	3,000	3,000	
	その他職員人件費	0	0	0	
人件費計(B)	9,495	9,564	9,513		
トータルコスト(A+B)	34,174	65,565	45,444		

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	公園維持管理事業(遊具及び樹木の点検)						
<b>総合計画 重点施策</b>	都市機能の充実	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	水とみどりの課

<b>事業目的・概要</b>
遊具の破損や枯木の倒木による事故を防止するため、遊具及び樹木（公園施設）の点検を実施する。 【公園数】227公園（令和2年度末時点） ※県営3公園を含む

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
公園施設の点検実施数	件	3	3	3	3	3

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
目標期限:R3.3末 達成基準:専門技術者による定期点検(遊具)1回/年、管理者による定期点検(遊具、施設及び樹木)2回/年	専門技術者による定期点検(遊具) R2.6~10 1回完了 管理者による定期点検(遊具、施設及び樹木) R2.6・R3.3 2回完了	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	公園の安全・安心な利用を実現するため、今後も継続して定期的な施設点検を実施していく。

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				積算基準および対象施設の見直しにより増額となっている。
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,591	2,287	3,245	
事業費計(A)		1,591	2,287	3,245	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	7	7	7	
	業務時間	560	560	560	
	その他職員人件費	360	360	360	
人件費計(B)		2,132	2,145	2,136	
トータルコスト(A+B)		3,723	4,432	5,381	

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	水辺利用推進事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	建設部	<b>担当課</b>	水とみどりの課

<b>事業目的・概要</b>
<p>利根川及び小貝川河川敷において、イベントの開催、レンタサイクル事業の実施、サイクリング環境の整備を行うことで、市のまちづくり資源である水辺環境の活用を図る。 令和2年度は河川敷サイクリングロード利用者向けに、公衆便所や飲料水の自動販売機の位置を案内するための看板等を整備することで、利便性の向上を図る。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
整備箇所数	箇所	1	2	0	2	2
レンタサイクル実施日数	日	84	58	75	75	75

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>目標期限: 令和3年3月末 達成基準: 案内看板等の整備</p>	<p>令和3年3月5日に取手市櫛木地区の県南総合防災センター脇に小貝川サイクリングロード周辺の案内看板を設置して、取手市ホームページで設置したことを周知した。案内看板の設置に伴い、藤代スポーツセンター敷地内の飲料水自動販売機と公衆便所付近にサイクルラックを設置した。 成果指標のレンタサイクル実施日数の令和2年度実績については、新型コロナウイルス感染症の影響で4月から6月にかけて休業したため減となった。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	<p>引き続き、河川敷の水辺を広く市民が利用できるように水辺環境の活用を図る。サイクリングロードの看板等の整備は、令和3年度に取手市自転車活用推進計画の策定を予定しているため、策定後の方針に沿って事業を実施する。</p>

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを中止したため。
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	290	546	840	
	一般財源	2,418	602	1,245	
事業費計(A)	2,708	1,148	2,085	<b>協働の取組・方向性</b>	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	1,737	1,351	1,737	
	その他職員人件費	0	0	0	
人件費計(B)	5,498	4,307	5,508		
トータルコスト(A+B)	8,206	5,455	7,593		

## 令和2年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	緑化推進事業						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

<b>事業目的・概要</b>
<p>市民の緑化意識の向上と市域の緑化推進を図るために、取手市緑化推進委員会と連携して、緑の募金による学校緑化、取手ガーデンロード花いっぱい事業等の緑化推進事業を展開する。 また、市内の緑育活動の活性化を図るために、緑化ボランティア団体の活動を支援するとともに連携事業を実施する。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
緑の募金事業の実施数	回	4	3	4	4	4
取手ガーデンロード花いっぱい事業の実施数	回	2	2	2	2	2
緑化ボランティア団体との連携事業実施数	回	9	9	9	9	9

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
緑の募金事業 5月～3月 取手ガーデンロード花いっぱい事業 6月・11月 緑化ボランティア団体との連携事業 4月～3月	緑の募金事業 学校募金・企業募金・職場募金の3事業を実施し、集まった募金の交付金で学校緑化事業を実施した。当初は街頭募金も実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止とした。  取手ガーデンロード花いっぱい事業 6月 コスモス種まき 11月 ポピー種まき 計2回実施した。  緑化ボランティア団体との連携 市内緑化推進団体 計9団体との連携事業を実施した。(森林インストラクター茨城・環境NPOとりで・緑水会・いちょうの会・取手自然友の会・藤代まちづくり協議会・神住フラワーカナル愛好会・岡そば打ち同好会・絆会)	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	市民の緑化意識向上と市内の緑化推進を図り、緑豊かな生活環境を形成するため、緑化の施策を継続して積極的に行っていく。

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	1,100	1,100	1,000	
	一般財源	0	0	0	
事業費計(A)	1,100	1,100	1,000	<b>協働の取組・方向性</b>	
人件費	正規職員数	1	2	2	緑化ボランティア団体との連携により、緑化に対する知識の普及及び意識の高揚に努め、市民の自主的な緑化活動の育成を図る。
	業務時間	1,860	1,860	1,860	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)	5,887	5,930	5,898		
トータルコスト(A+B)	6,987	7,030	6,898		